

**【表紙】**

**【提出書類】** 有価証券報告書の訂正報告書

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成27年 6 月25日

**【計算期間】** 第23期(自 平成26年 7 月 1 日 至 平成26年12月31日)

**【発行者名】** インヴェンシブル投資法人

**【代表者の役職氏名】** 執行役員 福田 直樹

**【本店の所在の場所】** 東京都港区六本木六丁目10番 1 号六本木ヒルズ森タワー

**【事務連絡者氏名】** コンソナント・インベストメント・マネジメント株式会社  
代表取締役社長 福田 直樹

**【連絡場所】** 東京都港区六本木六丁目10番 1 号六本木ヒルズ森タワー

**【電話番号】** 03-5411-2731

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

## 1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年3月27日提出の有価証券報告書の記載事項のうち、今後変更される可能性のある将来予想数値が記載されていたためこれを削除するとともに、本投資法人の担保付借入りに係る被担保債権の額に誤記がありましたので、これらを訂正するため、本訂正報告書を提出するものです。

## 2【訂正事項】

### 第一部【ファンド情報】

#### 第1【ファンドの状況】

##### 1【投資法人の概況】

##### (1)【主要な経営指標等の推移】

##### b. 事業の状況

##### (1) 当期の概況

##### (イ) 投資法人の主な推移

##### 5【運用状況】

##### (2)【投資資産】

##### 【その他投資資産の主要なもの】

##### H 担保提供の状況

## 3【訂正箇所】

下線\_\_\_\_\_は訂正箇所を示します。

### 第一部【ファンド情報】

#### 第1【ファンドの状況】

##### 1【投資法人の概況】

##### (1)【主要な経営指標等の推移】

##### b. 事業の状況

##### (1) 当期の概況

##### (イ) 投資法人の主な推移

<訂正前>

(前略)

その後も、本投資法人は、取得検討物件の収益力及びマーケット状況等を勘案し、収益の安定性と賃料のアップサイドを併せ持つホテル物件の追加取得を検討してまいりましたが、平成27年2月6日付（平成27年6月期）で、第三者からホテル1物件を、また、スポンサー・パイプラインとしての覚書対象物件からホテル2物件を取得しました。本物件取得については、新投資口を発行することなく、手元余剰資金及び新規借入れにより実施したことから、平成27年年間の1口当たり分配金は、本物件取得前の1,422円（平成26年10月31日付 当初予想）から本物件取得後に1,571円に増加する見込みです（注）。

(後略)

<訂正後>

(前略)

その後も、本投資法人は、取得検討物件の収益力及びマーケット状況等を勘案し、収益の安定性と賃料のアップサイドを併せ持つホテル物件の追加取得を検討してまいりましたが、平成27年2月6日付（平成27年6月期）で、第三者からホテル1物件を、また、スポンサー・パイプラインとしての覚書対象物件からホテル2物件を取得しました（注）。

(後略)

## 5【運用状況】

## (2)【投資資産】

## 【その他投資資産の主要なもの】

## H 担保提供の状況

## &lt;訂正前&gt;

(前略)

(注3) 平成26年12月31日現在の株式会社三井住友銀行、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社新生銀行、株式会社シティバンク銀行、株式会社三井住友信託銀行及び株式会社りそな銀行により組成されるシンジケート団を担保権者とする質権及び抵当権の被担保債権額は、110,956百万円です。

(後略)

## &lt;訂正後&gt;

(前略)

(注3) 平成26年12月31日現在の株式会社三井住友銀行、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社新生銀行、シティバンク銀行株式会社、三井住友信託銀行株式会社及び株式会社りそな銀行により組成されるシンジケート団を担保権者とする質権及び抵当権の被担保債権額は、57,300百万円です。

(後略)